



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日
東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 植垣 文雄 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	393,778	△8.2	32,527	△23.2	29,823	△21.4	15,147	△21.8
2019年12月期第3四半期	428,914	△4.7	42,334	△22.1	37,941	△27.1	19,357	△41.8

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 2,525百万円(△41.4%) 2019年12月期第3四半期 4,308百万円(△86.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	44.05	44.01
2019年12月期第3四半期	55.86	55.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,075,047	528,089	47.7
2019年12月期	991,149	538,545	53.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 512,924百万円 2019年12月期 525,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年12月期	—	21.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	19.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	△9.7	40,000	△26.2	35,000	△27.5	15,000	—	43.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 3Q	354,863,603株	2019年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3Q	10,939,561株	2019年12月期	11,130,834株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 3Q	343,865,009株	2019年12月期 3Q	346,518,211株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における世界の経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、多くの産業で需要が減退しましたが、その後経済活動が徐々に再開されたことを受け、中国や米国で回復の兆しがみられました。このような状況下、当社グループは、産業のサプライチェーンを支えるべく、安全の確保と感染防止策の徹底を行った上で事業活動を継続してまいりました。その結果、当連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は前年同期比35,136百万円(8.2%)減の393,778百万円、営業利益は9,807百万円(23.2%)減の32,527百万円、経常利益は8,118百万円(21.4%)減の29,823百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,210百万円(21.8%)減の15,147百万円となりました。

当社グループは長期ビジョン「Kuraray Vision 2026」のありたい姿として「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に成長するスペシャリティ化学企業」を掲げています。引き続き、ありたい姿の実現に向け、中期経営計画「PROUD 2020」の戦略に沿った具体的施策の実行を通じ、新たな事業ポートフォリオ構築に取り組んでまいります。

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は186,759百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は27,996百万円(同22.3%減)となりました。

- ① ポバール樹脂は、世界的な需要の低迷により販売が減少し、それに伴う生産調整を行ったため低調となりました。光学用ポバールフィルムは、大型ディスプレイ向けを中心に需要が回復したことにより、堅調に推移しました。PVBフィルムは、建築向け、自動車向けともに需要低迷の影響を受けました。水溶性ポバールフィルムは、引き続き、個包装洗剤向けの販売が拡大しました。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、自動車生産台数減少の影響を受け、ガソリントank用途の販売量が減少しましたが、食品包材用途は巣ごもり消費の拡大により販売量が増加しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は36,143百万円(前年同期比9.6%減)、営業利益は2,130百万円(同48.1%減)となりました。

- ① イソプレン関連は、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>ともに、主に中国、アジアにおいて需要低迷の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、引き続き電気・電子デバイス用途が堅調に推移しましたが、自動車用途では生産台数減少の影響を受けました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は90,675百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益は2,891百万円(同9.4%減)となりました。

- ① メタクリルは、飛沫飛散防止用仕切板やディスプレイ向けの販売が増えましたが、事業全体では原料高と市況悪化の影響を受け低調でした。
- ② メディカルは、歯科材料において、感染蔓延により休業する歯科医が増えた結果、当初は欧米において苦戦しましたが、その後、歯科医の診療再開により需要は回復基調にあります。
- ③ カルゴン・カーボンは、コロナ禍においても生活を支える製品として、堅調に推移しました。炭素材料も水処理用途の需要が増え販売が拡大しました。なお、高機能活性炭の需要拡大に合わせ当第2四半期にCalgon Carbon Corporation米国既存工場における設備増強を決定しました。またベルギー子会社では工業用途の需要拡大に合わせ当第3四半期に再生活性炭の設備増強を決定しました。

[繊維]

当セグメントの売上高は40,020百万円(前年同期比15.9%減)、営業利益は2,703百万円(同38.0%減)となりました。

- ① 人工皮革<クラリーノ>は、アジア及び欧州での需要減退に伴い、販売量が減少しました。
- ② 繊維資材は、ピニロンで需要の低迷が続いており、セメント補強向け、ゴム資材向けともに販売量が減少しました。
- ③ 生活資材は、<クラフレックス>でマスク用途の販売は増えたものの、コスメティック用途や自動車用途の需要が低迷しました。

[トレーディング]

繊維関連事業は各用途とも苦戦しましたが、樹脂・化成品関連事業は中国の需要回復により前年並みとなりました。その結果、売上高は89,322百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は2,817百万円（同6.1%減）となりました。

[その他]

その他事業は、国内関連会社の販売が低調であったことにより、売上高は32,051百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は347百万円（同40.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に備えるため、手元流動性を高めました。具体的には社債30,000百万円、コマーシャル・ペーパー28,000百万円、長期借入金78,364百万円など、有利子負債が135,996百万円増加したこと等により、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性は103,670百万円増加しました。上記に加えて、未払費用が25,927百万円減少した結果、資産合計は前連結会計年度末比83,898百万円増の1,075,047百万円、負債合計は前連結会計年度末比94,353百万円増の546,957百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比10,455百万円減少し、528,089百万円となりました。自己資本は512,924百万円となり、自己資本比率は47.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の蔓延は依然継続していますが、各国の景気刺激策が下支えとなり、中国や米国を中心に、当社の主力用途である自動車、電子デバイス、ディスプレイなどの需要にも回復の兆しが見られました。今後も感染拡大抑止と社会経済活動維持の両立をさせながら、穏やかな需要回復傾向が続くとみられます。

当第3四半期連結累計期間における業績や足もとの事業環境、為替や原燃料価格の動向を踏まえ、2020年8月12日に公表した通期業績予想から以下のとおり修正します。

2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 510,000	百万円 33,000	百万円 29,000	百万円 13,000	円 銭 37.80
今回修正予想 (B)	520,000	40,000	35,000	15,000	43.61
増減額 (B-A)	10,000	7,000	6,000	2,000	
増減率 (%)	2.0	21.2	20.7	15.4	
(参考) 前年実績 (2019年12月期)	575,807	54,173	48,271	△1,956	△5.66

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,014	202,159
受取手形及び売掛金	121,166	112,185
有価証券	33,341	6,865
商品及び製品	101,628	97,518
仕掛品	15,679	15,543
原材料及び貯蔵品	34,696	31,445
その他	16,661	19,697
貸倒引当金	△455	△333
流動資産合計	394,732	485,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	79,629	82,708
機械装置及び運搬具（純額）	205,974	198,644
土地	22,062	22,145
建設仮勘定	82,071	94,427
その他（純額）	25,055	24,246
有形固定資産合計	414,793	422,173
無形固定資産		
のれん	61,357	56,597
顧客関係資産	33,062	30,037
その他	35,514	32,861
無形固定資産合計	129,934	119,496
投資その他の資産		
投資有価証券	28,770	24,136
長期貸付金	189	162
退職給付に係る資産	1,977	2,175
繰延税金資産	13,506	14,819
その他	7,272	7,032
貸倒引当金	△28	△29
投資その他の資産合計	51,688	48,295
固定資産合計	596,416	589,965
資産合計	991,149	1,075,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,883	31,368
短期借入金	34,864	34,495
コマーシャル・ペーパー	24,000	52,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払費用	50,491	24,564
未払法人税等	4,307	4,210
賞与引当金	6,578	9,107
その他の引当金	226	192
その他	41,317	32,184
流動負債合計	201,670	198,124
固定負債		
社債	50,000	70,000
長期借入金	128,001	206,366
繰延税金負債	13,743	13,060
役員退職慰労引当金	347	368
環境対策引当金	3,692	3,496
退職給付に係る負債	22,203	23,661
資産除去債務	4,671	4,572
その他	28,273	27,306
固定負債合計	250,933	348,833
負債合計	452,604	546,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,197	87,178
利益剰余金	348,289	348,627
自己株式	△16,286	△16,006
株主資本合計	508,156	508,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,922	5,908
繰延ヘッジ損益	△263	△230
為替換算調整勘定	14,575	3,331
退職給付に係る調整累計額	△5,238	△4,839
その他の包括利益累計額合計	16,995	4,169
新株予約権	663	328
非支配株主持分	12,729	14,837
純資産合計	538,545	528,089
負債純資産合計	991,149	1,075,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	428,914	393,778
売上原価	292,167	272,473
売上総利益	136,746	121,305
販売費及び一般管理費		
販売費	25,136	22,666
一般管理費	69,274	66,111
販売費及び一般管理費合計	94,411	88,777
営業利益	42,334	32,527
営業外収益		
受取利息	231	198
受取配当金	448	370
持分法による投資利益	253	142
その他	702	961
営業外収益合計	1,636	1,673
営業外費用		
支払利息	1,076	1,081
為替差損	1,697	171
その他	3,256	3,123
営業外費用合計	6,029	4,377
経常利益	37,941	29,823
特別利益		
投資有価証券売却益	1,568	787
受取保険金	10,691	391
新株予約権戻入益	—	285
特別利益合計	12,260	1,464
特別損失		
訴訟関連損失	14,727	5,183
操業休止関連費用	511	3,249
固定資産廃棄損	1,131	571
減損損失	3,358	—
災害損失	858	—
関係会社整理損	567	—
特別損失合計	21,156	9,004
税金等調整前四半期純利益	29,045	22,283
法人税、住民税及び事業税	11,238	8,780
法人税等調整額	△2,409	△2,323
法人税等合計	8,828	6,457
四半期純利益	20,216	15,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	859	679
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,357	15,147

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	20,216	15,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△731	△2,015
繰延ヘッジ損益	30	△73
為替換算調整勘定	△15,246	△11,612
退職給付に係る調整額	39	399
その他の包括利益合計	△15,908	△13,300
四半期包括利益	4,308	2,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,369	2,320
非支配株主に係る四半期包括利益	938	204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリアセテート	イソプレ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	169,599	21,992	80,453	36,382	94,751	403,179	25,735	428,914	—	428,914
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31,837	18,000	14,072	11,202	2,039	77,152	12,558	89,711	△89,711	—
計	201,437	39,992	94,525	47,584	96,791	480,332	38,293	518,626	△89,711	428,914
セグメント利益	36,037	4,107	3,192	4,361	3,001	50,700	582	51,282	△8,947	42,334

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△8,947百万円には、セグメント間取引消去1,622百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,570百万円を含んでいます。全社費用の主なもの、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビニリアセテート」セグメントにおいて、減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,358百万円です。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリアセテート	イソプレ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	156,675	19,382	77,593	30,335	87,381	371,369	22,409	393,778	—	393,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,083	16,760	13,081	9,684	1,940	71,551	9,641	81,192	△81,192	—
計	186,759	36,143	90,675	40,020	89,322	442,920	32,051	474,971	△81,192	393,778
セグメント利益	27,996	2,130	2,891	2,703	2,817	38,539	347	38,886	△6,358	32,527

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△6,358百万円には、セグメント間取引消去1,448百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,807百万円を含んでいます。全社費用の主なもの、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。